



リビングからダイニング、キッチンを見る。家族が多い分キッチンに立つ時間も長いことからキッチンを中心としたレイアウトで家族とのコミュニケーションを重視した。



17

**上** は14歳から下は1歳の4人の子どもと、愛犬一匹の大家族で暮らすSさんの家。それまで築35年の中古住宅で暮らしてきたが、家族が増えるに伴い手狭になったことから建て替えることにした。「知人がコーラリィで家を建てたのを見てもらったのが最初です。北欧デザインで温もりのある雰囲気と好みの家だなという印象でした」と妻のMさんはビルダーとの出会いを振り返る。

家族が多いS邸では、キッチンに立つ時間が長い。そこでキッチンから1階全体に目が届くことは最優先事項の一つだった。キッチンはシンクとコンロが並列しているII型を採用。II型は作業動線が短くなるほか、収納スペースや作業スペースが広くなるなどメリットが多い。アイランド型のシンクの周りには家族が入れ替わり立ち替わりやってくる。「お手伝いもしやすいし、この動線にしてよかったと思っています」とMさんは笑顔を見せる。「ホームシアターもつくったんですよ」というSさん。天井からするするとスクリーンを降ろす。家族みんなで映画鑑賞を楽しむこともあるという。新しい住まいでの暮らしを存分に楽しんでいる様子が伝わってくる。

家族みんなが仲の良いS邸だが、コミュニケーションが生まれる間取りと同時に叶えなかったのが、ほどよい距離感だとMさんは言う。そのため2階は3つの子ども室に振り

暮らしにすっとなじむ  
温もりあふれる北欧デザインの住まい

設計・施工 CHORALY 菊地建業 | 秋田市/S邸

